



◆10月のCP市場動向

10月末のCP市場残高は25兆8,947億円と前月比3兆4,143億円増加した。前年同月比では2,064億円の減少となった。発行市場は、9月末に負債残高調整を行った事業法人の調達再開により、市場残高が大きく増加した。新規発行期間は、日本銀行の金融政策修正への思惑により、期間の長い発行は金利上昇が意識され、発行体が期間の短い発行を選好する傾向が見られた。

業種別残高では、一般事業法人は9兆2,645億円（前月比+1兆8,607億円）、その他金融は11兆7,138億円（同+1兆9,641億円）とそれぞれ増加した。一方、金融機関は3兆2,490億円（同▲182億円）、ABCPは1兆6,674億円（同▲3,923億円）とそれぞれ減少した。発行レートは、概ね0%から小幅なプラス圏での出合いが中心となった。

注：「一般事業法人」＝事業法人からその他金融を除いたもの

【業態別残高内訳】

(単位：億円)

| 業 態 | 10月末残高 | 9月末残高 | 増 減 |
|---------|---------|---------|--------|
| 一般事業法人 | 92,645 | 74,038 | 18,607 |
| その他金融 | 117,138 | 97,497 | 19,641 |
| 金融機関 | 32,490 | 32,672 | -182 |
| 政府系金融 | 0 | 0 | 0 |
| 銀行等 | 3,902 | 5,064 | -1,162 |
| 証 券 | 28,588 | 27,608 | 980 |
| A B C P | 16,674 | 20,597 | -3,923 |
| 計 | 258,947 | 224,804 | 34,143 |

(注：買入消却分含む)

(出所：証券保管振替機構)

【格付け別の発行レート】

| 格 付 | 1か月 | | 2か月 | | 3か月 | |
|---------------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|
| a-1+ (一般事業法人) | 0.000% | ～ 0.007% | 0.000% | ～ 0.005% | 0.000% | ～ —— |
| a-1 (一般事業法人) | 0.000% | ～ 0.040% | 0.000% | ～ 0.008% | 0.000% | ～ 0.050% |
| a-1+ (リース銘柄) | —— | ～ 0.070% | —— | ～ 0.055% | —— | ～ 0.045% |
| a-1 (リース銘柄) | —— | ～ 0.060% | —— | ～ 0.070% | 0.045% | ～ 0.080% |
| a-2 | 0.020% | ～ —— | 0.035% | ～ —— | —— | ～ 0.400% |

「CP 等買入オペ」

CP 等買入オペは、当初予定通り 2 回の合計 8,000 億円で実施された。12 日オファー分の結果は、応札額 8,565 億円、案分レート 0%（平均レート 0.011%）、26 日オファー分は、応札額 7,355 億円、案分レート 0%（平均レート 0.023%）となった。
なお、買入オペ残高は 10 月末時点で 2 兆 4,184 億円となっている。

【CP 等買入オペ実績】

（単位：億円）

| 実施日 | 実行日 | オファー金額 | 応札額 | 落札額 | 案分・全取 | 平均落札 | 案分比率 |
|--------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|-------|
| 10月12日 | 10月17日 | 4,000 | 8,565 | 4,000 | 0.000% | 0.011% | 19.9% |
| 10月26日 | 10月31日 | 4,000 | 7,355 | 4,000 | 0.000% | 0.023% | 83.5% |

（出所：日本銀行）

「短期社債登録状況」

証券保管振替機構によると、10月末時点における発行登録企業数は変わらず、546社であった。

新規登録：熊谷組

登録抹消：アトリウム

【登録企業数推移】

| | 8月末 | 9月末 | 10月末 |
|-------|-----|-----|------|
| 登録企業数 | 546 | 546 | 546 |
| 増減 | 1 | 0 | 0 |

（出所：証券保管振替機構）

「CP 現先市場」

現先（S/N）レートは運用二ーズ変わらず、▲0.05%～0%近辺での出会いとなっていた。

◆11月のCP市場動向

11月のCP発行市場は例年同様、年末に向けた賞与資金や納税対応等により発行増加が想定される。また、日本銀行のイールドカーブ・コントロール運用の再柔軟化を受けた起債の様子見により、CP発行増加の動きが生じた場合には、市場残高が前年同月を超えることも考えられる。発行レートは0%近辺での出会いが中心となると見込まれるものの、金融政策修正の警戒感から期間の長い銘柄ではレートの上昇余地を探る展開が予想される。

「CP 等買入オペ」

CP等買入オペは、9日と27日でそれぞれ4,000億円、合計8,000億円のオファー予定となっている。9日オファー分の結果は、応札額7,578億円、案分レート▲0.003%（平均レート0.004%）と案分レートが本年9月8日オファー分以来、マイナスに低下した。CP市場残高は高水準で推移しているものの、引続き、投資家の運用二ーズも旺盛であるため、応札額、案分レートは共に前回同水準を予想する。

「CP 現先市場」

CP 現先レートは、▲0.05%～0%近辺での出会いを予想する。

* 参考資料

【10月末発行残高 上位10社】

(単位：億円)

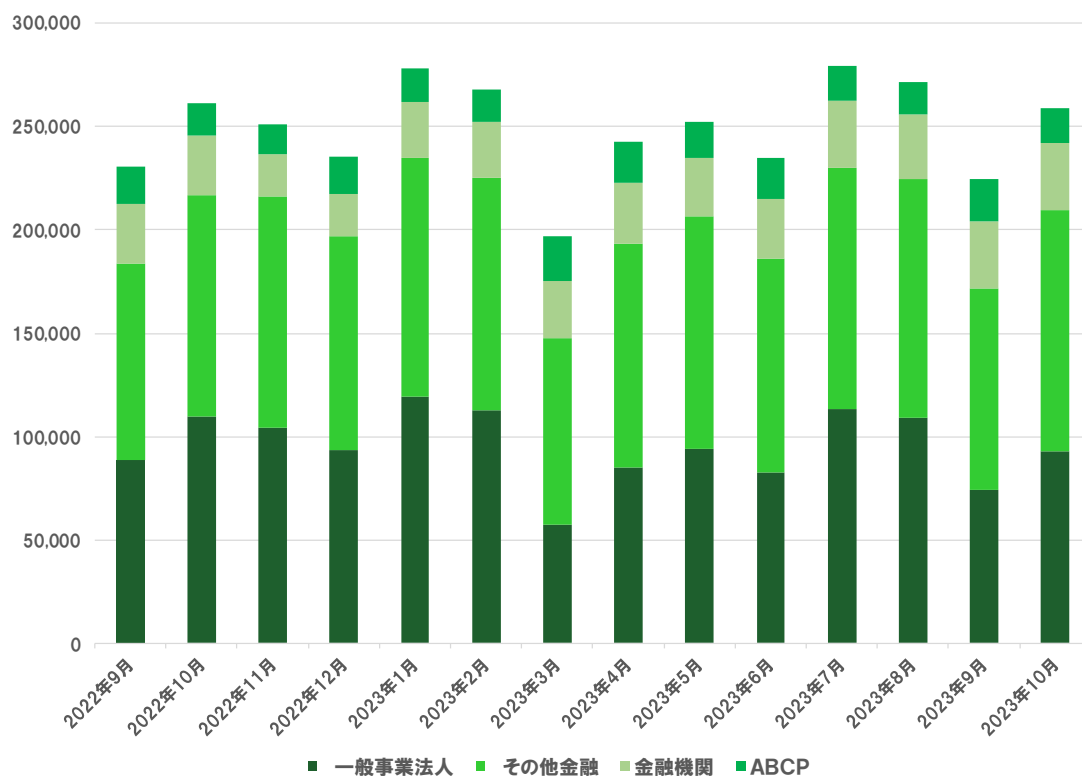
| | 発行企業名 | 10月末残高 | 9月末残高 |
|----|-------------------------|--------|-------|
| 1 | NTTファイナンス株式会社 | 17,190 | 3,930 |
| 2 | NTT・TCリース株式会社 | 9,250 | 9,135 |
| 3 | 三井住友ファイナンス&リース株式会社 | 8,681 | 8,542 |
| 4 | コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション | 6,975 | 8,624 |
| 5 | 三菱HCキャピタル株式会社 | 5,898 | 5,403 |
| 6 | SMBC日興証券株式会社 | 5,855 | 5,355 |
| 7 | J A 三井リース株式会社 | 5,700 | 5,330 |
| 8 | みずほリース株式会社 | 5,605 | 5,610 |
| 9 | 株式会社クレディセゾン | 5,290 | 4,900 |
| 10 | 三井住友カード株式会社 | 5,180 | 4,730 |

(出所：証券保管振替機構)

【短期社債市場残高】

(2022年9月～2023年10月)

(単位：億円)



(出所：証券保管振替機構より当社作成)

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会